

武蔵野市地域自立支援協議会 会長様

社会福祉法人 睦月会
理事長 綿 祐二
LifeDesign つむぎ
統括施設長 小林明美

日中支援型グループホーム「Life Design つむぎ」の報告について

下記のとおり日中サービス支援型共同生活援助「Life Design つむぎ」令和4年度の事業
に関して報告をいたします。（数値は令和5年2月28日現在）

基準法令

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉
サービスの 事業等の人員、設備及び運営に関する基準」（平成18年9月29日厚生労働
省令第171号）

基準省令第213条の3（基本方針）

日中サービス支援型指定共同生活援助の事業は、常時の支援体制を確保することにより、
利用者が地域において、家庭的な環境及び地域住民との交流の下で自立した日常生活又は
社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれて
いる環境に応じて共同生活住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生
活上の援助を適切かつ効果的に行うものでなければならない。

基準省令第213条の10（協議の場の設置等）

日中サービス支援型指定共同生活援助事業者は、日中サービス支援型指定共同生活援助
の提供に当たっては 法第89条の3第1項に規定する協議会その他都道府県知事がこ
れに準ずるものとして特に認めるもの（以下「協議会等」という。）に対して定期的に日中
サービス支援型指定共同生活援助の事業の実施状況等を報告し、協議会等による評価を受
けるとともに、協議会等から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない。

社会福祉法人睦月会 日中サービス支援型共同生活援助

Life Design つむぎ 令和4年度事業報告

1. 事業所概要

運営	社会福祉法人 睦月会
代表者	理事長 綿 祐二
法人所在地	東京都国立市泉三丁目30番地の5
事業所名	Life Design つむぎ
事業所所在地	武蔵野市桜堤 1-9-6
管理者	小濱健太郎
サービス管理責任者	小濱健太郎
統括施設長	小林明美
指定年月日	令和2年3月1日
事業種別	日中サービス支援型 共同生活援助
利用者	定員 18名 現員 17名（男性8人、女性9人） 身体障害者 9人（重複含む）、知的障害者 17人
年齢	10代（男1人）20代（男4人、女5人）30代（男2人、女3人） 50代（男1人、女1人） 平均年齢 29.8 歳
支援区分	区分4（男1人、女1人）、区分5（男2人、女1人）、区分6（男5人、女7人）平均障害区分5.4 医療的ケアのある方 3名 導尿2人、浣腸1名 自閉傾向 行動障害の方 3名 利用のべ人数 4524人（2022年4月1日～2023年2月28日まで） 1日平均14人
短期入所	定員 2名
コロナ禍ということもあり、受け入れが本格始動したのが令和4年11月以降だった。	
	登録者 8名 利用のべ人数 48人（2022年4月1日～2023年2月28日まで）

バックアップ施設 Life Design らふ、Life Design ゆにぞん

体制 管理者・サービス管理責任者1名、世話人7人（常勤換算 5.7人）、
生活支援員 15人（常勤換算 6.7人）看護師 1人（常勤換算 0.3）

2. 日中の過ごし方等利用者に対してどのような支援を行っているか

- ・利用者さんの選択により、現在は、通所施設を希望され、生活介護事業所や就労継続B型事業所等へ通所している。
- ・体調が悪いときはつむぎで過ごしていただいた。入院加療し、体調が戻るまでしばらくつむぎで日中を過ごして体調が戻ってから通所に行かれた方がいた。
- ・余命宣告を受けた利用者さんのケアを行った。関係者会議（相談事業所、つむぎ、通所先、家族、市、訪問医、訪問看護）を開き今後の生活について方針を出し、GHは延命に関する同意書をいただき、緊急時の対応について流れを確認した。当面暫定的に一旦ホスピスに体験入院をして、容体が急変したときは入るホスピスを確保し、それまではつむぎと通所で日常を過ごすことにした。訪問医による定期的な訪問と訪問看護で日常の様態を確認しながら支援した。現在は、穏やかに過ごされている。

・食事、排泄、入浴その他日常生活全般の支援と体調不良やケガなどでは通院などの対応をした。

・今年度は発熱し新型コロナウイルス感染した利用者もいた。つむぎで隔離療養をした。

・土日は自宅に帰られる方もいた。またつむぎで過ごされる方もいてガイドヘルパーと出かけたり職員と近隣の買い物や散歩に出かけたりした。

3. 地域や家族との交流

・地域との交流は持ててはいないが、施設内で新型コロナウイルス感染防止対策を行いながらお楽しみの行事を行った。

・七夕、ハロウィン、クリスマス会、ひな祭り等季節の行事を行い利用者さんに楽しんでもらった。

・今後は地域との交流を持てるようにしたい。

4. 医療機関とはどのような連携体制をとっているか。

（医療機関との連携、医師や看護師の訪問の有無、日々の健康チェック方法等）

・協力医療機関に発熱時の通院やご助言をいただいた。

・健康管理については毎日朝夕の検温、食事量の把握、水分量の把握、排泄の管理（排便管理等）、睡眠時間の把握、薬の与薬、皮膚への軟膏処置などは日常的に行い、これらに関する情報を健康把握表にてまとめ、日常的に把握している。表はサービス提供記録と共にご家族へ1週間ごとに提出している。急な発熱などは、ご家族と連絡を取り合い都度対応してきた。長期的な問題点などはご家族と相談し定期通院時に家族が医師に相談しその内容をグループホームにフィードバックしていただいていた。

・グループホームの看護師と訪問門看護ステーションの看護師による連携で医療的ケア3名の導尿・浣腸と腹部観察を実施した。都度体調に関する情報交換をしながら支援スタッフと協力して対応した。・個人契約の訪問リハビリテーションを行っている。

・医療的ケア実施者に対しては、つむぎと訪問看護ステーションゆかりで利用者の契約で医療的ケアを行っている。

・緊急時には、管理者、睦月会の看護師が対応をした。

・訪問医（個人契約）による診察してもらい、スタッフへのアドバイスをもらった。

5. グループホームはこんな場所です

Life Design つむぎでは

ひとり一人の状態像に合わせてカスタマイズされています。

- ① 利用者の状態像に合わせて生活空間を造っている。（クッション床、上がり床）
- ② 障害の重さによる障壁のない、どんな方でも入居可能なグループホームです。
（機械浴室などを作り重度の身体障害者でも対応できる。）
- ③ 各ユニットで特徴の違う利用者がそれぞれに分かれて生活していただける様に配慮しています。（2階：車いすご利用者様中心、3階：知的障害ご利用者様中心）
- ④ 入居者の状態像に合わせた設備を考え、希望に応じて居室をカスタマイズしています。（壁紙、お風呂、防音壁、夜間保安用 室内カメラ等）

6. 短期入所事業

短期入所 定員 2名

コロナ禍ということもあり、受け入れが本格始動したのが令和4年11月以降だった。

登録者 8名

利用のべ人数 48人（2022年4月1日～2023年2月28日まで）

以上